

JR不採用問題の全面解決！組織強化・拡大！ 不公平感の是正にむけ職場から闘うぞ！



発行所
国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行者 平山 芳夫
編集者 清水 孝次

2008年11月15日
第1459号

●国労加入を
大胆に訴えよう！

第71回定期地方大会を開催

地方本部は10月25日、長野県労働会館で第71回定期地方大会を開催した。本年4月に国労に新規加入した田中久美さんの特別発言、6年ぶりの美幌・紋別両闘争団長あいさつなど気持ちも新たに元気の出る大会となった。代議員の活発な討論をおこない、JR不採用問題の早期解決、より一層の組織拡大に職場の総力を挙げるなど新年度の闘う運動方針を決定した。

大会は準備支部の東北信支部小松委員長のあいさつで始まり、開会あいさつで



あいさつする平山委員長と代議員・各級機関代表者

あった。つづいて資格審査委員会より代議員34名中31名の出席が確認され大会の成立が宣言された。

議長には塚田泰正代議員（新幹線東信駅）、副議長には西澤直樹代議員（貨物松本）が選出され議事に入った。

平山委員長はあいさつで、JRの不採用問題について、東京高裁南裁判長の『裁判外での話し合い』提案を生かすべく、支援共闘とともに全力でこの問題の解決にあたりたいと述べ、6年半ぶりに行った美幌・紋別の夏季物販オルグの成功と長野県議会で『不採用問題の早期解決を求める意見書』が採択されたことを報告した。つぎに組織拡大について、2名の若い仲間への加入に自信を持ち、要求の多数派から組織の多数派をめざす。そのために職場から不正・不公平感の是正運動を作っていくと力強く訴え、予想



議長団（塚田議長、西澤副議長）

される総選挙では国労の要求と国民の生活や権利を守る政治勢力の勝利に全力を尽くすと述べた。

続いて来賓のあいさつでは、高橋博久県労組会議議長が「美幌・紋別闘争団の凍結解除をはじめ大きな前進のあった一年であった」「22年目もしっかり支えていきたい」と述べた。また、それぞれの皆様より心のもった、力強いあいさつを受けた。

小林袈裟文鉄道退職者の会長野地方連合会会長、国労家族会（会長・山崎みどり他）の皆さんにも参加していただき紹介された。祝電・メッセージは私鉄県連と県教組からのメッセージが紹介され、地区労組会議など24本が寄せられた。永年役職員表彰は6名を表彰。代表して清水英明さん（小海線分会）が御礼の言葉を述べた。つづいて情宣活動優秀分会表彰を行った。方針案提案などに続き、午後には討論を行ない全一日の日程を終了した。



松井東日本本部副委員長あいさつ

1、不採用問題を解決する大変重要な時期、我々の運動にかかっている。
2、長野の組織拡大は全国に勇気を与えてくれた。東日本では8名の拡大。12月には組織拡大の経験交流集会を計画している。今が重要な時期。
3、一括和解以降も残る不正・不公平感を払拭させる第一歩として、分会アンケートを実施し、個人情報を含む人事管理を東労組の組合員が行っている事が問題であると会社側と交渉おこなった。結果として平行線となり「中労委『あっせん』」となった。
4、並行在来線問題は、本部プロジェクトとなっているが、東日本本部としても地方の状況に応じて機関として責任をもって対応する。

来賓の方々

高橋博久県労組会議議長、中川博司社会民主党県連合幹事長、山口典久日本共産党県委員会書記長、竹之内健次部落解放同盟県連執行委員長、滝沢一夫長野県労働金庫理事長、飯田敬次全労済県本部理事長、清水清利国労議員団团长（議員紹介、古畑、今井、竹内、佐藤、宮澤各議員）

退任した役員

山崎信一 執行副委員長
桜井正広 執行委員
富沢政一 執行委員
塩原智久 執行委員
清水 健 会計監査員
ごくろうさまでした。

永年勤続役職員表彰(敬称略)

清水 英明 小海線分会
小原 春美 松本保線区分会
小松 一門 松本運輸分会
吉田 進 松本運輸分会
荻原光三郎 貨物篠ノ井分会
後藤 正次 貨物篠ノ井分会

機関紙コンクール表彰

優秀賞 長野運輸分会会
「国労長野運輸分会ニュース」
佳作 貨物松本分会
「国労なんまつ貨物」
努力賞 運輸協議会
「国労運輸職協情報」



書記長集約

①JR不採用問題の早期解決を実現させる闘い
年度末が大きな山場。できる限りの闘いを行なっていく。

10・24大集会は11, 200名の結集により成功させた。長野でも12月13日支援共闘会議の総会を中央の闘いにつなげていく。また、独自行動の展開、県議会に続く市町村議会での意見書採択を獲得していく。

②闘争団支援の闘い

6年半ぶりの紋別・美幌闘争団オルグを夏期から再開した。冬期のオルグを11月10～14日の日程で行なう。冬期物販の取り組みと合わせ成功させよう。

貨物の仲間に学び、冬期物販、ホタテについて昨年実績を超える取り組みをしよう。

白馬現地激励行動、支援米を今年も取り組む。

③労働条件改善、安全・安定輸送の確立

11・13貨物行動に合わせ11・11日本総決起集会を開催する。

09春闘は本部、エリア本部に足並みを合わせるとともに独自行動も展開する。

JR東日本の非常事態宣言状態は、合理化、

国労差別、技術継承問題等もその要因となっている。業務部を中心に分会、職協との連携を密にし、改善へ向け全力を挙げる。

エルダー、出向者交流会の開催を検討する。

④一括和解の検証および組織拡大・強化

昇進試験の受験強化と合格率アップ、遠距離通勤の解消に努力する。

「あっせん」の取り組みと同時に職場での和解の検証を強化する。

新採対策は、次年度についても申し入れを行ない、分会単位での行動強化を行なう。

⑤政治闘争と共闘運動の強化

非正規労働者、外国人労働者問題にも目をむけ市民団体を含め共闘運動を強化していく。

総選挙では、国民目線に立った政権の実現をめざす。現退一致での選対を設置した。全組合員の協力をお願いする。

今大会は、紋別・美幌闘争団を迎えての開催、62歳の代議員、18歳の国労組合員の加入報告、平成採用の女性組合員からの発言などバリエーションある大会となった。

大会議論を踏まえ全力で闘う。

● JR不採用問題
・東京高裁南裁判長、冬柴国交相(当時)の発言などから、これが最後のチャンス。過去の経験を教訓として、4者4団体の枠組みをより強固なものに

● 組織強化・拡大
・女性組合員、新採社員の国労加入は大きな出来事であり、勇気をもらった。更なる組織拡大に向けがんばろう。
・新採社員が加入したこと

● 遠距離通勤の解消
・松本から長野への遠距離通勤者1名が、9年ぶりに戻る事ができた。徐々にではあるが是正されてきている。今後も遠距離通勤の解消に向け努力してほしい。

● 貨物和解
・職場の中には闘いの後退があるのではないかとの不満もある。期末手当獲得の地本総決起集会の開催を含め従来どおりの闘いを提起してほしい。

その他、職場の問題を現場長と話し合い、現場で解決できることは現場でを基本に取り組んでいるとの報告などもされた。

紋別・美幌闘争団あいらじり

清野紋別闘争団長



6年ぶりの定期大会に招いていただき大変うれし。昨日の10・24中央大集会は大きな集いで闘いも前進した。

長野から声かけて頂き6年半ぶりの支援で力がわいた。ひとけたの団員しかいないが、この時期に解決したい。家族と共にどんな解決になるか分からないが、前を向いて闘って行くことを確認した。

長縄美幌闘争団長



国労組合員のみなさんのあたたかさは異動のたびに感じていました。東労組の分裂の中で初めて相談をし、中南信支部太田委員長の「俺について来い！」の言葉を信じ国労を選びました。男性に負けず、組織拡大に向けがんばります。

田中久美さんの特別発言



◆退職の際は、鉄道退職者の会への加入を！◆
◎鉄道退職者の会 長野地方連合会
電話 026-226-6658

◆交運共済からのお知らせ◆
マイカー共済の新規加入を！
◎全国交運共済生協 長野事業部
電話 026-291-5057 JR:067-2583

2008年度 地方本部役員

役職名	氏名	(分会名)	任務分担
執行委員長	長平 山芳夫	(製造)	総括
執行副委員長	長伊 藤公正	(松本保線区)	委員長補佐・共闘部長
書記	長佐 藤浩一	(車両二科)	政治部長・車両所
執行委員	長原 藤正幸	(長野機械区)	企画・法対部長
執行委員	長粕 山真彰	(車両二科)	総務・財政部長
執行委員	長尾 水孝次	(小海線)	業務部長
執行委員	長清 太田耕三	(松本運輸区)	教宣部長
執行委員	長吉 澤英夫	(車両二科)	調査部長
執行委員	長佐 美正信	(長野運輸)	組織部長
執行委員	長田 中義久	(松本保線区)	業務・組織
執行委員	長坂 本善昌	(長野運輸)	組織・物販・東北信
執行委員	長宮 本充	(貨物塩尻機関区)	青対部長・物販・中南信
執行委員	長松 英英雄	(貨物塩尻機関区)	組織・教宣・物販
会計監査員	若上 倉正己	(車両一科)	
会計監査員	若上 早川信之	(諏訪運輸)	
青年部長	長松 崎伸也	(新幹線東信駅)	
婦人部長	長倉 石真知子	(貨物塩尻機関区)	
特別執行委員	藤牧 健男	(長野運輸)	
特別執行委員	藤持 英英雄	(貨物篠ノ井)	貨物担当
特別執行委員	藤持 英英雄	(新幹線東信駅)	東日本本部会計監査員